

○水生生物モニタリング調査結果一覧（はやま湖G）

＜はやま湖G 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
G－1	○	○	○	○	○	○
G－2	○	○	○	－	○	－
G－4	○	○	○	－	○	－

＜はやま湖G 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質			その他		
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透明度(m)
G－1（表層）	37. 7348°	140. 8102°	R6. 6. 24	10:30	10:40	23. 5	14. 6	泥	7. 5Y3/2	植物片	9. 1	2. 9
G－1（下層）				10:35		15. 3						
G－2（表層）	37. 7267°	140. 8223°		09:50	10:10	23. 1	15. 8	砂泥	7. 5Y5/2	植物片	2. 4	>2. 4
G－2（下層）				09:55		19. 3						
G－4	37. 7382°	140. 8035°		12:30	12:35	22. 8	22. 8	砂	7. 5Y5/3	植物片	0. 3	>0. 5

＜はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD	COD	DO	電気伝導率	塩分	TOC	SS	濁度	Cs-134	Cs-137	Sr-90
調査地点	緯度	経度	日	時刻		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mS/m)		(mg/L)	(mg/L)	(度)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
G－1（表層）	37.7348°	140.8102°	R6. 6. 24	10:30	7. 4	1. 0	3. 8	8. 9	8. 1	0. 05	1. 8	3	2. 5	N. D. (0. 0014)	0. 0077	－
G－1（下層）				10:35	7. 5	1. 0	3. 7	8. 5	8. 6	0. 05	1. 8	3	2. 0	N. D. (0. 0013)	0. 010	0. 0010
G－2（表層）	37.7267°	140.8223°		09:50	7. 9	0. 9	3. 5	9. 2	8. 1	0. 04	2. 0	1	1. 3	N. D. (0. 0015)	0. 0064	－
G－2（下層）				09:55	7. 1	0. 6	3. 2	7. 8	8. 4	0. 05	1. 7	2	1. 3	N. D. (0. 0014)	0. 014	－
G－4	37.7382°	140.8035°		12:30	7. 7	0. 6	3. 2	8. 5	9. 4	0. 05	1. 5	<1	0. 7	N. D. (0. 0014)	0. 0067	－

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0. 85～2mm) (%)	中砂 (0. 25～0. 85mm) (%)	細砂 (0. 075～0. 25mm) (%)	シルト (0. 005～0. 075mm) (%)	粘土 (0. 005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
G－1	37.7348°	140.8102°	R6. 6. 24	10:40	7. 0	232	55. 9	12. 5	32. 0	2. 510	0. 0	0. 0	0. 2	15. 2	65. 2	19. 4	0. 026	2. 0	23	1600	2. 4
G－2	37.7267°	140.8223°		10:10	7. 1	459	19. 9	1. 4	1. 5	2. 650	15. 3	27. 9	38. 6	13. 8	1. 4	3. 0	0. 71	9. 5	2. 9	140	－
G－4	37.7382°	140.8035°		12:35	7. 4	473	25. 2	2. 2	1. 9	2. 620	3. 4	15. 8	61. 0	14. 0	1. 8	4. 0	0. 46	4. 8	3. 6	210	－

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<はやま湖G 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
G-1 G-2 G-3	湖内	37. 7348° 37. 7267° 37. 7302°	140. 8102° 140. 8223° 140. 8307°	R6. 6. 24	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン（浮遊藻類）	—	0. 015	—	—	—	2. 6	N. D. (1. 8)	2. 6	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	1. 3	成魚	不明消化物	内臓除去	40	N. D. (1. 6)	40	1. 7
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	1. 5	成魚	不明消化物	内臓除去	34	N. D. (1. 4)	34	0. 45
					脊椎動物	硬骨魚	ススギ	サンフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	1	0. 63	成魚	空胃	内臓除去	54	N. D. (1. 4)	54	—
					脊椎動物	硬骨魚	ススギ	サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	99	2. 0	未成魚	—	—	11	N. D. (1. 3)	11	0. 40
G-4	流入河川	37. 7382°	140. 8035°	R6. 6. 24	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0. 0085	—	—	—	73	N. D. (11)	73	—
					藻類・植物	接合藻	ホシトノボ	ホシトノボ	<i>Spirogyra</i> sp.	アオミドロ属	—	0. 30	—	—	—	0. 28	N. D. (0. 26)	0. 28	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	36	0. 020	幼虫	—	—	2. 2	N. D. (2. 3)	2. 2	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	53	0. 62	未成魚/成魚	—	—	11	N. D. (1. 3)	11	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	58	0. 65	未成魚/成魚	—	—	23	N. D. (1. 3)	23	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	4	0. 33	未成魚	ヘビトンボ、カワヨシノボリ	内臓除去	8. 7	N. D. (1. 4)	8. 7	—
					脊椎動物	硬骨魚	ススギ	ハヤ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	カワヨシノボリ	13	0. 017	未成魚	—	—	7. 6	N. D. (1. 8)	7. 6	—
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	キキ	<i>Tachysurus tokiensis</i>	ギバチ	1	0. 012	未成魚	—	—	7. 2	N. D. (3. 5)	7. 2	—
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1. 1	成魚	空胃	内臓除去	132. 1	2. 1	130	0. 29
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1. 5	成魚	ヘビトンボ	内臓除去	92	N. D. (1. 6)	92	0. 58
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1. 7	成魚	ヘビトンボ	内臓除去	97. 1	2. 1	95	0. 48
					脊椎動物	両生	無尾	アメリカカガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	1	0. 45	成体	—	—	25	N. D. (2. 9)	25	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0. 27	—	—	—	25	N. D. (1. 3)	25	—

※１：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※２：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※３：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※４：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※５：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※６：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※７：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※８：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。